

ファブラボ北加賀屋 活動概要

ファブラボについて

ファブラボ (Fab Lab) とは、「ほぼあらゆるもの (almost anything) 」をつくることを目標とした、多様な工作機械を備えたオープンな市民制作工房とその世界的なネットワークです。これまで大量生産・規模の経済といった市場原理に制約されて世の中につくり出されなかったものも含め、個人が自らの (あるいは住んでいる地域の) 必要に応じて、そうしたものを自分たち自身の手でつくりだせるようになるような社会を目標として掲げています。別の言葉に言い換えると、「ものづくりの民主化」をすすめ、暮らしの中にもものづくりが息づく社会をつくることを目標としています。

ファブラボジャパン

2002年にはじまったファブラボは、2011年4月現在、少なくとも世界20カ国以上50か所以上に存在しています。日本においても、2010年春から、ファブラボジャパン (FabLab Japan) として活動がはじまり、ファブラボおよびパーソナルファブリケーションの可能性を広く伝えながら、国内におけるその在り方について検討が重ねられてきました。2011年には、日本初のファブラボとして、ファブラボ鎌倉 (FabLab Kamakura) とファブラボつくば (FabLab Tsukuba) がオープンし、本格的な制作活動がはじまりました。2012年には、ファブラボ渋谷 (FabLab Shibuya) もオープンし、ファブラボジャパンは「社会基盤、プラットフォーム」部門にてグッドデザイン賞を受賞しています。

(ウェブサイト <http://fablabjapan.org/>)

ファブラボ北加賀屋

2012年初めから、関西においても大学の教員・学生や企業の設計・開発者など有志によってファブラボの設立に向けた議論が行われ、2012年夏からは、具体的な活動拠点の検討もはじまりました。そして、いよいよ2013年初めから、ファブラボ北加賀屋 (FabLab Kitakagaya) として、国内4カ所目、関西初の拠点を構え、制作活動に取り組んでいきます。

活動内容

ファブラボ北加賀屋では、主に次の事業を展開していきます。

- ほぼあらゆるもの (almost anything) をつくるための方法論の共有、蓄積、継承
- 各自の制作プロジェクトの遂行、および、その試行錯誤の過程を通じた学習
- 一般市民を対象とした制作ワークショップの企画、運営
- 前各号に附帯する一切の事業

代表

白石晃一 京都市上京区一条通智恵光院西入北新在家町309-3
090-9638-6074

副代表

津田和俊 大阪府茨木市南春日丘3-8-25-306
090-4142-8794

会計

松本薫 京都市上京区
090-9695-6512

監査

水野大二郎 神奈川県鎌倉市扇ガ谷1-10-8扇ガ谷荘8号室
080-3738-9008